# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

春日井市立勝川小学校（愛知県）【協力校】

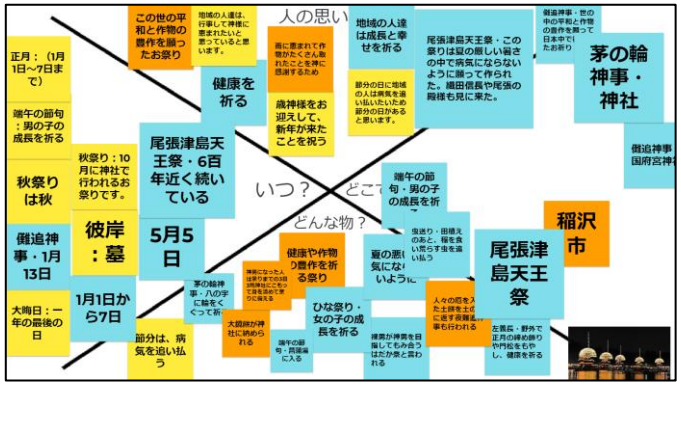
## 【取組内容①】「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」

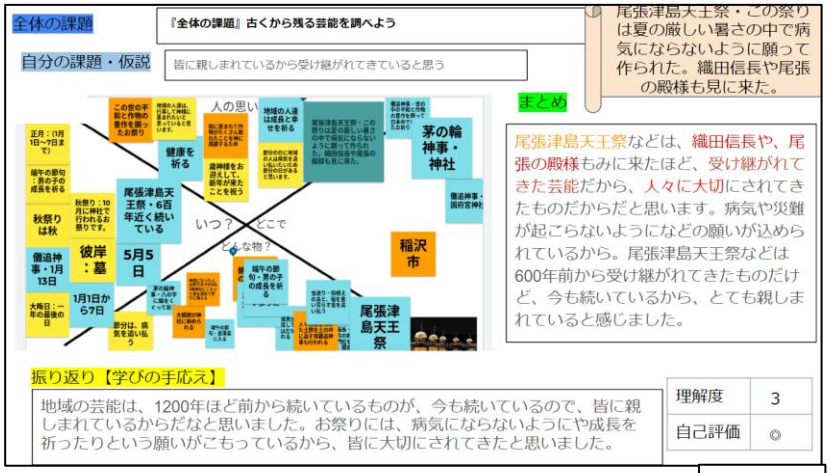
### 社会科での活動

資料①

資料②

資料③



資料④

４年生の社会科「残したいもの、伝えたいもの」の学習での活用場面である。学習の流れとして、資料①は、Google Chatを利用して、資料の読み取りから、課題に対する仮説を立てるところまで行った。Chatを活用することで他者参照でき、参考にしながら自分の考えをもつことができた。次に資料②③は、情報収集と整理の様子である。教科書やインターネットを活用して班ごとの単位で協働的に情報を集めGoogleジャムボードに整理した。共有ドライブにある思考ツールを背景にすることで分類しながら整理できていた。児童は、必要な情報が何であるのかやどのように整理するかなど話し合って学びを進めるとともに、完成後には、情報取集したことを資料にして、課題について意見交流をした。最後に資料④のように、Googleスライドにまとめと振り返りを記入し、１時間の学習を終えた。

この実践は４年生のものであるが、学校として探究のサイクルを回し、クラウドを活用した授業に実践に取り組んでいる。そして、主体的に学びを進めることのできる児童の育成を目指している。